

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回吉川市水道運営委員会
開 催 日 時	令和5年6月23日（金） 午後2時00分から 午後4時00分まで
開 催 場 所	吉川市民交流センターおあしすミーティングルーム4
出席委員（者）氏名	（市議会）小野潔委員 （使用者）飯塚貴利会長、阿部照義委員、中島のり子委員、 中島眞由美委員、番場勇貴委員、平塚史子委員、邨田茂委員 （有識者）宇野二郎委員、木暮昭彦委員、大泉將平委員
欠席委員（者）氏名	なし
（事務局） 担当課職員職氏名	吉川市長 中原恵人 水道課長兼水道技術管理者 秋谷裕司 庶務係長 大滝利和、施設係長 村上飛鳥 庶務係 山崎真由美、石井史織、野澤文彌、専門調整幹 岡田和也
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	<p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 市長あいさつ</li> <li>4 委員の委嘱</li> <li>5 諮問</li> <li>6 議 事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) お客様意識調査の結果報告について</li> <li>(2) 吉川市水道事業の現状について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>7 閉 会</li> </ol> <p>【公開・非公開】公開</p>
非公開の理由 （会議を非公開に した場合）	

傍聴者の数	1名
会議資料の名称	吉川市水道事業お客様意識調査報告書 吉川市水道事業の現状 吉川市水道料金の適正な水準について(諮問)(写) 吉川市水道運営委員会名簿 令和5年度吉川市水道運営委員会会議開催予定表
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	邨田茂委員、小野潔委員
その他の必要事項	
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
事務局	1 開会 会議は公開となることを報告する。
会長	2 会長あいさつ
市長	3 市長あいさつ
市長	4 委員の委嘱 大泉委員に委嘱状を交付 任期:令和6年11月4日まで 大泉委員あいさつ
市長	5 諮問 吉川市水道運営委員会条例第2条の規定に基づき、中原市長から飯塚会長に「吉川市水道料金の適正な水準について」諮問がなされた。
事務局	運営委員会定員11名のうち11名が出席し会議は成立、傍聴者が1名いることを報告。 会議資料、次第、資料一覧、令和5年度会議予定表、委員名簿を確認。 議事進行を飯塚会長に依頼。
会長	6 議事 会議録について、録音機器を用いた要点記録とし、邨田委員と小野委員を署名委員に指名する。

会 長	(1) お客様意識調査の結果報告について
事 務 局	<p>パワーポイントにより令和5年度「吉川市水道事業お客様意識調査」の結果について説明。</p>
大泉委員	<p><b>【意見・質疑等】</b> 調査送付対象者の1,100名の根拠は。</p>
事 務 局	<p>統計の手法で、5%の誤差を想定し、直近の調査の回答率から設定した。</p>
小野委員	<p>設問によって年代で差が出てしまうが、無作為の抽出は年代別で行っているのか。</p>
事 務 局	<p>年代には関係なく、無作為抽出している。</p>
飯塚委員	<p>メーターの口径別基本料金について質問しているが、個人の口径は市としてわかるのか。</p>
事 務 局	<p>検針票にも記載してあるとおり、口径は把握している。</p>
平塚委員	<p>メーターの口径が大きくなると圧力も大きくなるのか。</p>
事 務 局	<p>メーターの口径が大きくなると水量が多く出るようになる。 一般家庭は、13mmと20mmが多い。</p>
事 務 局	<p>今回のアンケートでは70歳以上の回答率が34%と最も多く、各設問の回答にもその影響があったと思われる。</p>
宇野委員	<p>今後の水道料金について、値上げ感の設問があり年代別でクロス集計した結果70歳以上の現状維持が多くなっている。 アンケートでは内容が理解できないと、直感で現状維持の回答を選びやすい傾向がある。</p>
木暮委員	<p>意見として、フロリダーション反対の意見が6件と多かったが何かあるのか。</p>
事 務 局	<p>過去に市の他部署で、フッ素を水道水に入れるということを調査研究されたことがある。 ※水道水にはフッ素を入れていない。</p>

会 長	(2) 吉川市水道事業の現状について
事 務 局	パワーポイントで「吉川市水道事業の現状」について、説明。
邨田委員	<p>【意見・質疑等】</p> <p>給水原価の内、受水費の割合が一番高いが、県と価格交渉はできないのか。</p>
事 務 局	県営水道の料金は、県内統一単価となっている。
邨田委員	給水原価の維持管理費でその他は何か。
事 務 局	吉川市では料金徴収や浄水場の運転管理を民間に委託しており、その委託料がその他の多くを占めている。
木暮委員	県水の受水単価は何年度まで現在の単価か。
事 務 局	<p>令和6年度までは現在の単価で据え置くとしている。</p> <p>今後、改定の予定があれば1年前くらいには話があると思う。</p>
大泉委員	料金改定の理由は色々とあると思うが、施設更新が大きな要因と考えて良いか。
事 務 局	収支や内部留保資金減少等、経営状況が悪化している中で吉川市の喫緊の課題である石綿管の解消を目指し、安定給水を図りたいと考えている。
小野委員	施設更新費用を補填するために今後、企業債の借入が必要になってくると思うが、借入の規模はどれくらいまでを想定しているのか。
事 務 局	詳細は今後の審議で示させていただくが、企業債残高対給水収益で3倍以内、できれば料金改定を踏まえ2倍以内に抑えたいと考えている。
小野委員	美南東口の開発で5千人程度増える計画であるが、料金収入への反映は見込んでいるのか。
事 務 局	今後の財政計画では、第6次総合振興計画の人口予測を基に水需要予測を行い、給水収益等に反映させている。

